

owase toco-toco trip!

尾鷲トコトコ旅

熊野古道 & 旧街道

せんぶ歩ける

尾鷲縦断
熊野古道
伊勢路地図

「馬越峠、八鬼山越え、三木峠・羽後峠、曾根次郎坂・太郎坂」

尾鷲トコトコ旅

熊野古道と旧街道

木立を縫うように続く石畳、尾鷲ヒノキが育つ美林…森の中に身を置くと、不思議と緑のパワーに癒されます。勾配のきつい山道も、展望台から望む熊野灘も、連子格子の懐かしい町並みも、歩き旅ならではの出会いと思い出。尾鷲の端から端までを古道と旧街道が繋がります。いにしえ



からの道をトコトコ歩き、風土と歴史を体感してみましよう。

地図記号(全体地図、熊野古道・旧街道地図共通)

	熊野古道		駐車場
	旧街道		トイレ
	国道		シャッターポイント
	県道・市道		尾鷲まちの駅
	自動車道		
	JR		

30分→
←30分
古道地図のポイントを結ぶ数字は歩行時間の目安で、コース全体の所要時間には休憩等も含まれています。



CONTENTS

- 3 尾鷲の地図
- 4 世界遺産 熊野古道
- 6 熊野古道 馬越峠
- 8 旧街道 尾鷲市街地 旧町内探検 1
- 10 旧街道 尾鷲市街地 旧町内探検 2
- 12 ガイド ご当地グルメ
- 14 ガイド 憩いのカフェ&喫茶
- 15 ガイド これ買って帰ろ お土産
- 16 熊野古道 八鬼山越え
- 18 コラム 尾鷲フリーク
- 19 旧街道 三木里
- 20 熊野古道 三木峠・羽後峠、古江
- 22 旧街道 賀田・曾根
- 24 熊野古道 曾根次郎坂・太郎坂
- 26 モデルコース
- 27 尾鷲ステイ・アクセスガイド

* 掲載された情報は2015年1月現在のものです



道の世界遺産 熊野古道を歩きましょう

三重、奈良、和歌山の三県にまたがる「紀伊山地の霊場と参詣道」は、自然、霊場、参詣道、それらを取り巻く文化的景観が主役。日本の宗教・文化の発展と交流に影響を及ぼし、世界でも類を見ない価値ある資産として、2004年、世界遺産に登録されました。未来に伝えるべき大切な宝です。



尾鷲市のある紀伊半島は
緑濃く険しい山々が連なります。



標高 2000m級の山脈が東西あるいは南北に走り、年間 3000mm を超える豊かな雨水が深い森を育てています。そんな厳しい自然あふれる紀伊山地に、熊野三山、高野山、吉野・大峯の三つの霊場とそこに至る参詣道が生まれました。参詣道の一つである熊野古道伊勢路は、紀伊半島東岸を南下する、熊野三山を目指す参詣者が歩んだ道。伊勢神宮への参詣と西国巡礼がブームになった江戸時代、盛んに歩かれるようになりました。尾鷲はちょうど伊勢と熊野三山のまん中に位置します。



伊勢路道標 →
世界遺産登録ルートに
約100mごとに設置

尾鷲の熊野古道は4つです

馬越峠 △ 325m レベル:★★ 美しい石畳は道幅も広く、歩きやすいと、古道ウォーカーに大人気のコース。	八鬼山越え △ 627m レベル:★★★★★ 登り、下りとも厳しい道のりの連続。難所を過ぎるたびに喜びもひとしお。	三木峠・羽後峠 △ 120m・△ 140m レベル:★★★ 小さな2つの峠を越え、海沿いを歩く。気軽に楽しめるハイキングコース。	曾根次郎坂・太郎坂 △ 305m レベル:★★★ 無にふけて歩きたい人にオススメ。石畳や史跡も多く、古道気分は充実。
---	---	--	--



尾鷲セラピストのご案内します

尾鷲の健康ウォーキングは、自然環境を利用する気候療法の方法論に基づいています。森林、木もれ陽、風や水の冷刺激、太陽光、紫外線、清浄な空気などは心身の健康・癒しに最適。熊野古道に精通し、健康的に楽しく安全にご案内する「尾鷲セラピスト」と歩きましょう。(問) 尾鷲観光物産協会 ☎0597-23-8261

馬越峠

magose - toge

「森を見る」

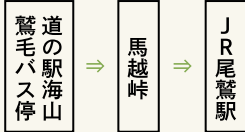


尾鷲セラピスト
橋本 博さん

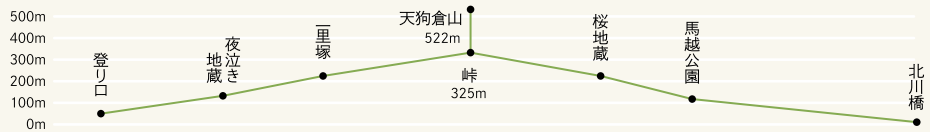
尾鷲ヒノキが伸びる人工林と照葉樹林の美しい森を歩きます。野草やシダが足元を彩り、ルリミノキなどたくさんのお樹木が楽しめます。表情豊かな峠道は季節毎に訪れたくなります。

COURSE

レベル ★★
所要時間 2時間
距離 約5km



尾鷲ヒノキの美林に続く伊勢路ナンバー1の石畳道



VIEW POINT



①石畳のベストショットはどこ!?
尾鷲の雨量は日本でトップクラス。その雨にも負けぬよう道にはどしどしと自然石が敷き詰められ、絵になる景色が2キロほど続く。重厚な石畳道で古道の風情を満喫。



②自然石の優しい夜泣き地藏
「無事に峠を越えますように……」と旅の安全を願って建立された地藏さん。いつの頃からか子どもの夜泣き封じも祈るようになり、ほ乳瓶が供えられている。



③ヒノキとシダの森
真っ直ぐ伸びるヒノキの下には、じゅうたんのようシダが覆う。急峻な地形とやせた土壌という厳しい条件で育った尾鷲ヒノキは、年輪が細かく丈夫と評判の木材。



④茶屋跡の馬越峠に到着
紀北町と尾鷲市の境が峠。茶屋跡を偲ばせる石垣が残され、江戸末期の俳人・可涼園桃乙(かりょうえんとういつ)の句碑が立つ。「夜は花の上に音あり山の水」



⑤レンガ造りの祠に桜地藏
この辺は山桜が多かったと聞く。また水飲み場が少なく、川の水が重宝され水呑地藏とも親しまれ、お堂を改築した山林主にちなんで、やすべい地藏とも呼ぶ。



⑥馬越公園は花の名所
春から初夏にかけて桜やツツジ、秋には萩の花が彩る憩いの場。近くに役行者が開いたとされる馬越不動尊があり、小さな滝が流れる、夏でも涼しいスポット。

尾鷲市街地

旧町内探検 1

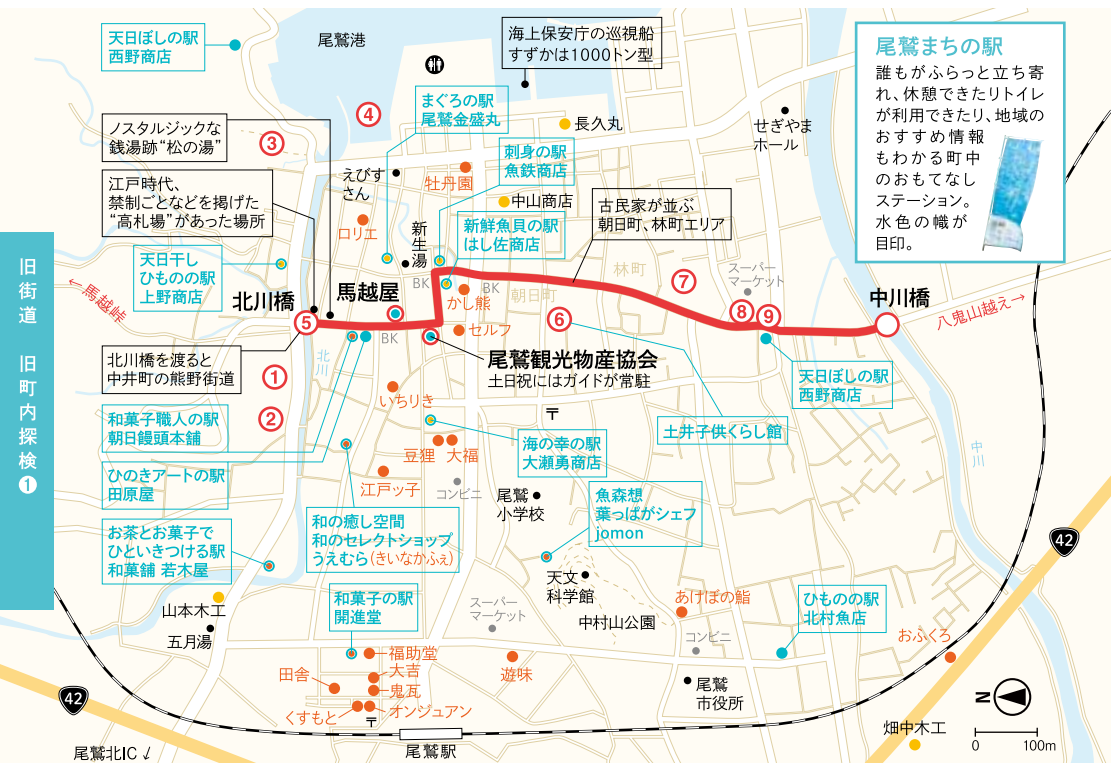
kyuchonai-tanken 1

COURSE

時間 ぶらぶら寄り道 1時間
街道まっすぐ 20分
距離 約 1.1km

北川橋

⇒
中川橋



尾鷲まちの駅

誰もがふらっと立ち寄り、休憩できたりトイレが利用できたり、地域のおすすめ情報もわかる町中のおもてなしステーション。水色の幟が目印。

尾鷲港 海上保安庁の巡視船 ずすかは1000トン型

まぐろの駅 尾鷲金盛丸

刺身の駅 魚鉄商店

新鮮魚貝の駅 はし佐商店

北川橋を渡ると中井町の熊野街道

和菓子職人の駅 朝日饅頭本舗

ひのきアートの駅 田原屋

お茶とお菓子の駅 和菓舗 若木屋

和菓子の駅 開進堂

和の癒し空間 和のセレクトショップ うえむら(きいなかふえ)

尾鷲観光物産協会 土日祝にはガイドが常駐

海の幸の駅 大瀬勇商店

魚森想 葉っぱがジェフ jomon

土井子供くらし館

ひもの駅 北村魚店

尾鷲市役所

尾鷲北IC / 尾鷲駅

古き良き町並みや趣のある路地裏、暮らす人々の笑顔に出会う

VIEW POINT



①金剛寺 kongo-ji

お寺の守護神・仁王像がイカツシ形相で迎えしてくれる。それぞれに海の青、山の緑を背負った鮮やかな色彩で、身長は3.7mと巨大。ご本尊は十一面観音立像。



②尾鷲神社 owase-jinja まちの駅

道にまではみ出た大楠が立派。ササノノミコトを祀り、御朱印も受けられる。2月1~5日の「ヤーヤ祭」が盛大にして奇祭。尾鷲旧町内の20町が練り!練り!練り!



③八幡神社 hachiman-jinja

尾鷲港が見通せる小高い山にあり、ムーミン島が目の前に。9月15日には豊漁、豊作、海上安全を祈るお祭り。朱色の稲荷神社、山道を歩いた先には浅間神社も。



④尾鷲港 owase-ko

魚が自慢の尾鷲の早朝に、セリ見学はいかが。海を愛する漁師や仲買人で漁港は活気づく。毎月第1土曜には海の幸などを揃えた「尾鷲イタダキ市」を開催。



⑤北川橋燈籠 kitagawabashi-cho

橋一帯は交通の要所で、江戸時代は高札場があり、回船の船着き場にも近く、昭和40年代まで乗合バスの停留所としてにぎわった。橋の四隅に燈籠を復活。



⑥土井子供くらし館 doikodomo kurashikan

明治から大正にかけての、土井家ゆかりの玩具や文具、生活品を約5000点展示。尾鷲と東京との海のつながりを実感。(要予約・有料) ☎0597-22-0002



⑦常誓寺 josei-ji

鬼を台座に鎧をつけ兜をかぶった武人姿の毘沙門天は、戦国時代、伊勢神宮の遷宮復興を助けた尼さんの菩提像。「内宮清順上人」との文字が見られる。



⑧旧林浦の在蔵 zaikura

江戸時代の備蓄倉庫で、紀州藩へ税として納める米や飢饉に備える困米(かこいまい)を収納した。津波にも備えて、どしどし石垣の高台の上に建つ。郷藏ともいう。



⑨山ノ鼻庚申塚 yamanohana koshinduka

貞享3年(1686)に建てられた庚申塚。山ノ鼻とは、昭和30年代まであった瀬木山の鼻(端)の意味。道標をかねた地藏尊や旅の安全を見守る石経碑も並ぶ。

INFOMATION 古道ウォーカーの強い味方



尾鷲観光物産協会 まちの駅
owase-kankobussan-kyokai
熊野古道や食事、土産、交通手段など、旅のことならおまかせのようす相談所。狭い路地の探検には小回りがきいて便利なレンタサイクルもあり。
☎0597-23-8261



馬越屋 (土日営業) まちの駅
magose-ya
かつては旅籠が軒を連ねていた中井町にあるお土産屋さん。地元のおかあちゃんが店番で、尾鷲弁でにぎやか。古道客にはうれしいコーヒーサービスが。☎0597-22-0126

尾鷲市街地 旧町内探検 2

kyuchonai-tanken 2

COURSE

時間 ぶらぶら寄り道 2時間
街道まっすぐ 40分
距離 約 2.7km



数多の旅人が行き交った迷路のような熊野街道やのはま道

VIEW POINT



①袖片橋 sodokatashi
昔、湾を挟んで暮らしていた2人の若者が偶然にこの橋で出会って喜び合い、別れの際に2人が出会った証として互いの片袖を交換したという言い伝えが残る。



②矢ノ浜庚申 yanohama-koshin
矢浜地区の入り口にある燈籠が目目を惹く庚申祠は、まちの人々が親しみを込めて「おこしんさん」と呼ぶ。石経碑も並び、コハナがお供えされている。



③灰釜 haigama
枯れ草や枯れ葉、ゴミなどを燃やして畑の肥料にするための灰を作る焼却釜。コンパクトなかわいいカマドだが、立派な瓦屋根仕様で貴重な生活資料だ。



④野面積の石垣 ishigaki
敷地の境界に積まれた石垣は江戸時代のもの。野面積とは切り出したままの石を加工せずに使った石組のこと。原始的な積み方で熊野古道にも見られる。



⑤矢浜宝篋印塔 hokyo-into
室町初期の気品高い印塔。その昔、北朝の厳しい追い打ちを逃れ、矢浜野田地に安住の地を得て亡くなった南朝の桂城宮綴連(つづれ)王重信の供養塔。



⑥尾鷲節の道標 owasebushi-dohyo
八鬼山への曲がり角に建つ。矢浜の大工と八鬼山向こうの三木里の娘との悲恋を唄った尾鷲節の一節。中井町の旧岩城旅館の靴脱ぎ石が利用されている。

YORIMICHI SPOT




⑦三重県立熊野古道センター kumanokodo-center
常設展示室には、熊野古道と周辺の歴史、自然、文化などの特徴がわかりやすく展示されていて、映像ホールもある。尾鷲ヒノキが6549本使われたシンプルで新しい構造システムは美しく、無垢材を間近に見ることができる。☎0597-25-2666



⑧夢古道おわせ yumekodo-owase まちの駅
みえ尾鷲海洋深層水を使った全国でも珍しいお風呂でゆったり。栄養バランスのよい家庭料理が味わえる「お母ちゃんのランチバイキング」、モッフル、スコーンが人気の古民家カフェ。特産品の売り場もあって尾鷲をたっぷり満喫できる。☎0597-22-1124



 尾鷲漁港に水揚げされた魚が食べられるお店へ GO！



鬼瓦 onigawara
魚の旨みを凝縮した煮魚はゴハンの進む味。地魚を味わう定食も一品料理も充実。野地町12-31 ☎0597-22-8055 11:00-14:00、17:00-21:00 不定休 [MAP/P.8](#)



お晩菜 くすもと kusumoto
手作り惣菜で和食から洋食まで。ランチのほか、夜には本格派のカクテルも。野地町10-1 ☎0597-23-2510 11:30-14:00、17:30-24:00 月休 [MAP/P.8](#)



割烹 田舎 inaka
地魚尽くしの定食はボリュームも満点。旨い魚で喜んでらおうと腕を振る。野地町12-27 ☎0597-22-8868 11:00-14:00、16:00-22:00 不定休 [MAP/P.8](#)



魚処 豆狸 mameda
大物魚からアワビ、伊勢海老、名産珍味までと尾鷲港の恵みが豊富に並ぶ。栄町5-37 ☎0597-22-1166 11:00-14:00、17:00-22:00(LO21:00) 不定休 [MAP/P.8](#)



日本料理 大福 daifuku
気軽なランチも記念日の夜にも重宝。京料理を思わせる上品なあしらいが人気。栄町5-40 ☎0597-22-0237 11:30-13:30、17:30~22:00 第2・4日休 [MAP/P.8](#)



レストラン ロリエ rorie
昔ながらのレトロな洋食屋さんでは、一年中、名物のマンボウが食べられる。港町12-6 ☎0597-22-6764。9:00-17:00 日休 [MAP/P.8](#)




牡丹園 botanen
マトウダイや赤ガシなどの地魚を中華で味わう。白身魚はあっさり広東風のたぶらで。港町6-1 ☎0597-23-2202 11:00-14:00、17:00-20:00 水休 [MAP/P.8](#)



遊味 yumi
トマト、クリーム系など豊富なパスタは、尾鷲の唐辛子・虎の尾でピリ辛味も。中村町6-25 ☎0597-22-7158 8:00-LO20:30 不定休 [MAP/P.8](#)



遊食処 あけぼの鮨 akebonosushi
熊野灘の魚介を味わい尽くす。握りや一品料理はもちろん、昼には定食も。中央町9-55 ☎0597-22-0376 11:00-14:00、16:00-22:00 月休(祝日営業) [MAP/P.8](#)

 国道沿いに、尾鷲の地魚でもてなす店がそこ、ここに



おわせお魚いちば おとと ototo
水産会社直営の食堂。刺身、煮物、焼き物から寿司、丼まで、デザートも地産産が並ぶ。古戸野町2-10 ☎0597-23-2100 10:00-18:00(食堂11:00-14:00) 年中無休 [MAP/P.3](#)



おふくろ ofukuro
地魚を中心に15種類の海の幸が載る海鮮丼は必食。ハモやケンゲンガツオも仕入れる。小川東町31-15 ☎0597-22-9040 11:30-14:30、17:00-20:30 不定休 [MAP/P.8](#)



うまいもんや TEN.
漁師町育ちの店主が天然物にこだわり、刺身やあら煮、一番の調理法でもてなす。中川27-3 ☎0597-23-3033 11:00-15:00、17:00-23:00 不定休 [MAP/P.10](#)



レストラン三紀 sanki
旬の素材はもちろん、タイやブリなどの尾鷲産を積極的にメニューに取り入れる。矢浜岡崎町261-1 ☎0597-22-4320 11:00-20:30 年中無休 [MAP/P.10](#)



さんき茶屋 sanki-chaya
祝事に欠かせないサンマ寿司の種類はピカイチ。押し寿司や麺類、丼物もある。矢浜岡崎町261-1 ☎0597-22-6111 7:00-21:00 年中無休 [MAP/P.10](#)



もりば moriba
活きのいいタチウオをカリッと揚げた天ぶらが看板メニュー。ガスエビやメヒカリも。矢浜2-7-20 ☎0597-23-3808 11:00-13:15、17:00-20:00 火休 [MAP/P.10](#)

 ゆっくりお酒を飲みながら、尾鷲自慢の味も夜も堪能



オン・ジュアン on juan
魚介や地元食材をパスタやカルパッチョに。ワインと一緒に味わえる。野地町10-1 ☎0597-22-4222 18:00-24:00 水休 [MAP/P.8](#)



大吉 尾鷲店 daikichi
仕入れから仕込み、焼きと全てにこだわる尾鷲っころばな焼き鳥屋。野地町12-31 ☎0597-25-2077 17:00-24:30 (LO24:00) 水休 [MAP/P.8](#)



江戸ッ子 edokko
魚にうるさい尾鷲人が通う、活きのいい旬のネタが自慢の寿司処。栄町6-9 ☎0597-22-2666 17:00-24:00 不定休 [MAP/P.8](#)



割烹 いちりき ichiriki
旬の食材、地元の食材を丁寧な仕事ぶりで調理するこだわりの割烹。中井町9-4 ☎0597-22-5424 17:00-LO22:30 不定休 [MAP/P.8](#)

ガイド
尾鷲
グルメ

峠後の アフタヌーンティー カフェ&喫茶



山の喫茶と古道の宿 山帰来 sankirai
木々に囲まれた山小屋風のカフェは鳥がさえずる癒しの空間。馬越峠登り口の近くにある。
馬越町1509-49 ☎0597-22-3597
10:00-16:00 月・木休 [MAP/P.7](#)



きいなかふえ kiina-cafe [まちの駅](#)
京町家の雰囲気漂うセレクトショップの奥にある隠れ家的なカフェ。町歩きのひとつに。 柴町8-8 [和のセレクトショップらえむら] ☎0597-22-0836
10:00-18:30 火・第1水休 [MAP/P.8](#)

ちよい食いや 尾鷲土産にも 魅惑のお菓子



お食事処 喫茶セルフ self
地元っ子ご風凰の老舗喫茶店。パフェのほか鉄板イタリアンや味噌カツや焼き魚の定食も。
中井町13-14 ☎0597-22-0474
9:00-19:00 月休 [MAP/P.8](#)



開進堂 kaishindo [まちの駅](#)
軒先のショーケースに四季折々の和菓子が並び、「峠の餅」や「地藏餅」は素朴ながらも上品な甘さ。
野地町12-41 ☎0597-22-0759
9:00~20:00 火休 [MAP/P.8](#)



和菓舗 若木屋 wakagiya [まちの駅](#)
古道歩きにぴったりな「ぶらぶら塩羊羹」や「冷やし餅」ほか、創作和菓子で塩羊羹のしさを追求する。
宮ノ上町4-21 ☎0597-22-0880
9:00~19:00(日曜は~17:00) 不定休 [MAP/P.8](#)



朝日饅頭本舗 asahimanjuhonpo [まちの駅](#)
3代続く老舗の和菓子屋。びっくりどら焼き「おーとっちょ」や古道が描かれた最中「石だたみ」など。
中井町7-22 ☎0597-22-0472
9:00~18:00 日休 [MAP/P.8](#)



天満荘 tenmaso [まちの駅](#)
大正14年建築の古民家からは、海を臨む。挽き立ての豆のコーヒーと日替わりケーキで一服。
天満浦161 ☎0597-22-7880
10:00-16:00 火・水・木休 [MAP/P.3](#)



葉っぱがシェフ jomon [まちの駅](#)
市街地でありながら緑あふれる小高い山の麓のカフェ。野草茶や海と山のスローフード。 中村町4-51 ☎0597-23-0016
11:30-14:00、18:00-21:00 月・火・水休 [MAP/P.8](#)



福助堂 fukusukedo [まちの駅](#)
昔ながらの洋菓子屋。銘菓「尾鷲節」は厚みのあるふわふわブッセ。チーズバターがコクのあふれる味。
野地町12-45 ☎0597-22-3972
8:30~19:00 不定休 [MAP/P.8](#)



御菓子司 かし熊 kashikuma
大粒でカラフルな餡「おわせの雨玉」や「熊の尾せんべい」、最中「獅子頭」は尾鷲の定番土産。
中井町1-2 ☎0597-22-0225
10:00~18:30 日休 [MAP/P.8](#)

GUIDE これ買って帰ろ 尾鷲のお土産



丸高

安全・安心な品質・衛生管理に努め、素材の鮮度、水にこだわる。天然魚を生で加工することで、うま味の素のたんぱく質を損ねることなく干物に。天満浦48 [MAP/P.3](#)
☎0597-22-2214
8:00-17:00 土休

はし佐商店

尾鷲で長年親しまれている老舗鮮魚店。早い時間に訪ねれば、その日揚げた魚介が店頭を賑わす。天日干して仕上げるからすみは初冬の風物詩。中井町1-19 [MAP/P.8](#)
☎0597-22-0304
9:00-16:00 土休

中山商店

明治初期創業。丁寧に作られた干物は、風味豊かで味わいのある逸品。徹底した管理のもと、乾燥具合は店主の厳しい目で見極め仕上げていく。朝日町5-3 [MAP/P.8](#)
☎0597-22-0707
8:00-17:00 日・祝休

めでたい屋 三和水産

地元のマダイを独自の技法で焼き上げたり、地産産素材とコロボを使った商品などを作る。材料にこだわり、化学調味料、保存料は未使用。三木浦町339 [MAP/P.3](#)
☎0597-28-2336
9:00-16:00 日・祝休

山本木工

15の頃からカンナを握り、木工屋をはじめ50年。尾鷲ヒノキのよさを知ってもらいたいと、箸やまな板などの暮らしの品を製造販売する。坂場町2-1 [MAP/P.8](#)
☎0597-22-1964
8:00-17:00 日休

西野商店

店頭に並ぶ干物は全て天日干し。干すのは店の屋上か、店前の堤防で、吹く風によって場所を変える。塩分控えめの身体にうれしい味。天満浦44-3(林町)15-1) [MAP/P.8](#)
☎0597-22-3219 [MAP/P.8](#)
9:00-17:30 土休

魚鉄商店

活きのいい魚が並び、尾鷲指折りの老舗魚店。値段に応じて作ってくれる刺身は、生け簀に泳ぐ魚をその場で捌いたり、味と鮮度は間違いない。港町8-13 [MAP/P.8](#)
☎0597-22-0152
9:00-17:00 火休

北村魚店

新鮮な魚を生開きし、薄塩に仕上げて天日でじっくり乾燥。みりん干しは白醤油でつけた秘伝のタレに漬け込まれ、少々甘めで魚の旨味を引き立てる。南陽町9-38 [MAP/P.8](#)
☎0597-22-0150
9:00-18:00 土休

田原屋

旧街道で、たわしの「へむへむ」やぞり、マットなど尾鷲ヒノキのシートを使った商品などを販売。ヒノキの芳香や消臭性、油脂分を実感できる。中井町7-24 [MAP/P.8](#)
☎0597-22-0470
10:00-18:00 不定休

上野商店

さまざま取り揃える干物は、無添加・天然素材にこだわり、潮風と天日で仕上げる。秘伝のタレに漬け込んだみりん干しは、ふっくらと美味。北浦町3-4 [MAP/P.8](#)
☎0597-22-2535
8:00-18:00 土休

尾鷲金盛丸

希少な部位なども無駄にせずマグロの美味しさを発信。完全手作業にこだわり「まぐろの角煮」や「まぐろオイル漬け」など商品の開発に熱心。港町11-10 [MAP/P.8](#)
☎0597-25-0004
9:00-17:00 水・日・祝休

おわせお魚いちば おとど

定置網や養殖、マグロ船を手がける水産会社直営店。新鮮魚や干物、「マグロフランク」など自社加工品から東紀州特産品まで地産産が揃う。古戸野町2-10 [MAP/P.3](#)
☎0597-23-2100
10:00-18:00 年中無休

ぬし熊

先代から受け継ぐ4代目が「尾鷲わっぱ」を製造。45の工程をたった一人で仕上げるため、完成までに約2ヵ月。わっぱに入れたご飯の味は格別。向井493-15 [MAP/P.10](#)
☎0597-22-9960
9:00-18:00 不定休

大瀬勇商店

明治から4代続く海産物店。干物や魚介類の加工をさまざまに手掛け、昔ながらの味を守って手作り。カツオの燻製「かつおくん」などの珍味も豊富。柴町2-16 [MAP/P.8](#)
☎0597-22-0563
10:00-18:00 不定休

長久丸

「生まぐろ」は、マイナス30度以下「アルコールスラリアイス冷凍装置」により鮮度を保つため、解凍しても生に近い味も食感が味わえる。朝日町2-1 [MAP/P.8](#)
☎0597-25-2100
8:30-17:00 日休

浜千商店

1枚1枚手作業で丁寧に開き、明治20年の創業以来、引き継いだ味付けにこだわる。やわらかい仕上がりを求め、できる限り天日干し。九鬼町242 [MAP/P.3](#)
☎0597-29-2045
9:00-17:00 火休(7・12月無休)

畑中木工

尾鷲ヒノキから大台のトチノキまで、用途に応じて最適な木を選定し、建具や家具を製造販売。木目の美しさにはこだわりをもっている。小川西町4-26 [MAP/P.8](#)
☎0597-22-2544
12:00-18:00 木・金休

📍 ほかにも尾鷲自慢の商品は、おとどや夢古道などで販売。お問い合わせは各店舗まで。
《総菜・弁当》 厨工房ごしま/野地町12-31 ☎0597-23-0710 《干物》 北村商店/瀬木山町3-31 ☎0597-22-6667 《サンマ寿司》 柏屋本店/南浦3067-2 ☎0597-22-9131 《うなぎおこわ》 鷲洋/南陽町5-20 ☎0597-22-6348 《サンマ甘露煮》 つくみ工房/向井353 ☎0597-22-4813 《魚のあぶり》 梶賀まおし会/梶賀町281 ☎0597-27-3355 《エリンギ》 東邦産業/矢浜大道1010-1 ☎0597-25-1717 《甘芋》 平山農園/林町12-22(農園南浦4727) ☎090-1982-3532 《野菜・虎の尾》 農事生産塾向井の里/向井372-5 ☎0597-22-3721 《黒にんにく》 東/紀州産野地町12-31 ☎080-3648-5499 《ジャム》 可成屋/中井町13-8 ☎0597-22-0244 《お茶》 石洲薬品/朝日町9-25 ☎0597-22-2321 《海洋深層水》 尾鷲名水/名柄町字松葉11 ☎0597-28-8350 《木工品》 えびすや/光ヶ丘14-18 ☎0597-23-0009 《蜜ロウワックス》 小川耕太郎 百合子社/賀日町105 ☎0597-27-3361 《ヒノキ製品》 尾鷲ポトサービズ/中川11-17 ☎0597-22-6080 《人形》 ホビーショップくみ/野地町12-27 ☎0597-22-8553 《骨董》 吉布・骨董はだ/中央町3-14 ☎0597-22-3008 《エコ石けん》 アクアサポート古江/古江町806(アクアストーンショップ) ☎0597-27-8080

八鬼山越え

yakiyama - goe

「町石の慰め」

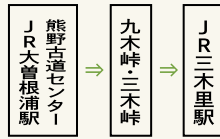


尾鷲セラピスト
川口 洋司さん

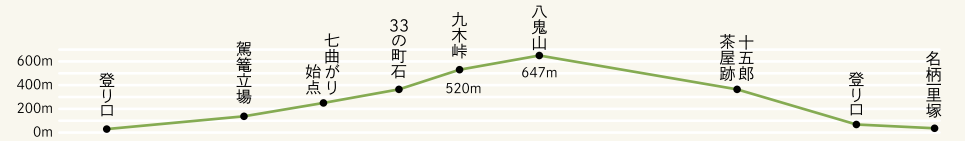
海から一気に登る急勾配には階段状になった石畳が続いています。それなりの体力が必要なコースですが、心と体は確実にリフレッシュ。わたしと一緒にがんばらない歩き方(!)で、難関を越えましょう。

COURSE

レベル ★★★★★
所要時間 4時間40分
距離 約10km



西国イチと呼ばれた難所を石仏に励まされて進む



VIEW POINT



町石の役目をなす石仏

かつては山頂までの道、50町に置かれていた地藏さんで、その表情はさまざま。今は34体が残されている。寄進したのは伊勢神宮の御師や伊勢の豪商。



①これぞ八鬼山! 七曲がり

勾配がきつクジグザグのカーブが続き、七曲がりは付近の小字名にもなっている。昔なら山賊や狼も行く手を阻んだ難所中の難所。ゆっくり呼吸を整えて歩こう。



②歩く目安となった桜茶屋一里塚

立ち枯れの松の木がすくくと一本。片方には山桜があったという一里塚とかつての茶屋跡。1里は36町で約4km。距離のある八鬼山には茶屋が3つもあったそう。



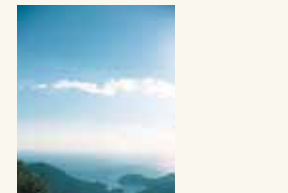
③寄り添う蓮華石と烏帽子石

昔の人は発想豊か。平たい石を蓮華(ハスの花)、縦長の石を烏帽子に似せて呼んだそう。またすり針、すりこ木に見立てて八鬼山の夫婦岩とも。



④歌舞伎にもなった荒神堂

正式には八鬼山日輪寺で防火の神。西国巡礼の前札所として巡礼者でにぎわったお堂。母がこの山で山賊に襲われるという歌舞伎が上演された(敵討浦朝霧)。



⑤超絶景のさくらの森広場

晴れていれば志摩半島から那智山までの大パノラマ。この景色のために歩いてきたといっても過言ではない。見晴らしサイコー。

COLUMN これでもアナタも尾鷲フリーク

📷 あな絶景かな wonderful scene



天狗倉山 tengura-san
少し登りのキツイ健脚コースを歩けば、熊野灘と大台ヶ原の溜め息の漏れる景色が待っている。すれ違う住民が道先案内人に「北側から登る」ことをおススメされる。尾鷲で一番愛される山。MAP/P.7



オチオボ岩 ochobo-iwa
パノラマ風景に圧倒される大岩は、歩いた者の特等席。左に白石湖から志摩半島、右はムーミン島から熊野の山々を一望し、地球の丸さを実感。天狗倉山ルートから歩道が整備されている。MAP/P.3



曾根城跡 sonejo-ato
賀田湾が一望できる見晴らしのよい曾根城跡の城山公園は、通称ツツジ山。春先にはオンツツジが一带を染めるように咲き乱れる。青と緑と朱色の美しいコントラストにうっとりする。MAP/P.23

🌳 そびえる巨木 big tree



尾鷲神社の夫婦楠
camphor tree
仲良く並んだ2本の大楠がシンボルとなっている尾鷲神社。夫婦楠にあやかうと良縁を求めてお参りする人が多い。MAP/P.7

飛鳥神社の大楠

camphor tree
幹回りが約11.5mの楠は、県下第3位の大きさ。境内には、紀伊半島の温暖な気候に育まれたスギ、バクチノキ、ムクロジなどが共生し、県の天然記念物。MAP/P.23



賀田のトチノキ

horse chestnut
樹齢300年の大樹がのびのびと自由に枝を広げる。トチの実のおかげで江戸時代の飢饉をしのげたと、賀田の人はこの森を伐らずに守り続けている。MAP/P.3

☀️ パワースポット power spot



岩屋堂 iwaya-do
山中にある大きな岩が、石像のおうち。鎌倉時代末期の作と伝わる聖観音と33体の観音石像が並ぶ。身も心も浄化される。まさにスピリチュアルスポット。MAP/P.7

村嶋不動滝

murashima-fudotaki
マイナスイオンの飛沫が心地よい不動滝は、古道センター横から遊歩道を歩いて10分ほど。初夏にはホタルが舞い、黄色いハンカインウが水辺を彩る。MAP/P.10



尾鷲湾の朝日

sunshine
尾鷲湾いどこ 朝日を受けて 浦で五丈の網を曳く♪と尾鷲節に歌われるよう、太平洋を真っ赤に染める朝日は尾鷲自慢の一つ、日本の朝日百選に選定。MAP/P.3

三木里 エリア

mikisato - area

COURSE

時間 ぶらぶら寄り道 1時間

距離 約 1.2km

沓川橋

八十川橋

旧街道沿いに残る佇まいが、旅の風情を感じさせる三木里



VIEW POINT

① 宿場町の名残

shukubamachi
西国三十三所図絵に「ここは入海の舟付きして商売の店、旅籠屋建ち並び」とあり、旅人によって栄えた集落。江戸時代の面影が残り、趣のある家々が所々に。



ガンギとデンジ
ガンギは雨風をしのぐための屋根で、雪国にも多い雁木造りのこれ。デンジとは連子(れんじ)格子のこと。



② 三木里海水浴場
mikisato-beach
白砂青松が続く穏やかな海岸。夏は海水浴やキャンプ、シーカヤックでにぎわう。



⑤ 三木里神社
mikisato-jinja
石段を登った丘にあり、三木里の町と海を臨む。樹齢1200年の大杉が御神木。



③ 吉宗松
yoshimune-matsu
青い海に映える松林は、8代将軍・徳川吉宗(紀州藩主)が植えたと伝わる。



⑥ 法念寺
honen-ji
池には、鉄さび色で尾の長い「鉄魚」が棲息。魚類唯一の県天然記念物。



④ 健康的に歩く、寛ぐ
beach-walk
足裏のツボを刺激する自然浴さんぽ路や背伸ばしベンチで心身リフレッシュ。



⑦ やきやまあーむ直売所
yakiyama-farm
肉厚の椎茸、干し椎茸やとまとけちやぶ、季節野菜が並ぶ。☎0597-28-8007

三木峠・羽後峠

miki-toge, hago-toge

「海を望む」



尾鷲セラピスト
大川 善士さん

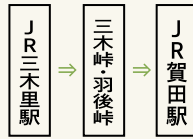
このルートは峠の麓に暮らすみんなで整備しました。寸断されているところは国道や農道に出て、2つの小さな峠を越えます。比較的歩きやすい道ですが、古江の集落まで足を伸ばせば、変化が楽しめます。

COURSE

レベル ★★

所要時間 3時間

距離 約6km



木々の合間に海を眺めるほっこりルートは近年発掘された道



VIEW POINT



①川のそばにある山の神

立派な石でできた祠の中に、山の神。山の神はコノハナサクヤヒメという女神とされ、小さな社のそばに木製の男根が供えられる。大きなクヌギが傍らにそびえる。



②フジバカマの咲く蝶の駅

小さな体で海を渡るアサギマダラが、秋に南下する途中、羽休めをする。タイミング良く訪れると、乱舞する姿にうっとり。蝶のお休み処として大川さんが整備した。



③農作物を守った猪垣

峠道に沿って猪や鹿の被害から畑を守った石積みが残る。山の中に総延長500メートルと、東紀州地域で最長の「シガキ」だ。昔の人の努力には頭が下がる思い。



④今も昔も安心の道標

峠から下りた山道との分岐点に「是より左くまの道」の道標。これで安心、曲がり損ねることはない。ルートには手作りの案内板も迷わないようあちこち設置される。



⑤賀田羽根の五輪塔

江戸初期のかなり古い五輪塔。五輪とは「空・風・火・水・地」のことで、故人供養のために建てたとされる。塔の後ろには墓碑もあり、思わず手を合わせる。

MACHI-ARUKI

古江に迷い込む!?

山裾の傾斜地に階段状に並ぶ町並みはまるで迷路。背中に「おぶかご」を背負って歩く古江の人に出会える。



みえ尾鷲海洋深層水 まちの駅

アクアステーション

栄養たっぷり、水温も安定、ととてもきれいな深層水。水産分野や食品、美容、さまざまに使われている。☎0597-27-8080



モクモクしお学舎 まちの駅

海洋深層水で塩を作る「塩育」の施設。独自の真空釜で、海水のミネラルを残した自然塩ができあがる。☎0597-27-3030

空助さんの墓

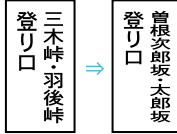
江戸時代、旅途中に体調に体調を崩し、他界した長崎出身の空助。善根宿・和兵衛の世話になり、光明寺に供養塔も建てられた。

賀田エリア 曽根エリア

kata-area, sone-area

COURSE

時間 登り口→登り口 30分
賀田駅ぐるり(城山含む) 2時間
距離 約 2.4km



旧街道
賀田エリア・曽根エリア



YORIMICHI SPOT



榎本酒店 (酒・菓子)
賀田町1597 ☎0597-27-2066



やまさん商店 (海産物)
賀田町1598 ☎0597-27-2543



みのや製菓舗 (和菓子)
賀田町1550 ☎0597-27-2106

林業と密接に繋がり、輪内の産業と文化の中心地として花開いた賀田
縄文遺跡が出土するほど古くから漁労で暮らし、海の幸に恵まれた曽根

VIEW POINT



①賀田の五輪塔
gorin-to
東禅寺下の小墓地で一際目を惹く古びた石塔。この五輪塔は大坂の陣で目を射られた武将・榎本太郎左衛門秀範のものであると伝わっている。



②東禅寺
tozen-ji
慶長時代(1596~1614)から続く寺。境内には、熊野信仰と結びついたナギの木がある。旅の人は道中のご加護を願い、ナギの葉をお守りにしたという。



③津波・山津波の供養碑
tsunami, yamatsunami-kuyohi
昭和19年の東南海地震による津波、昭和46年の集中豪雨による山津波で被害を受けた賀田。この災害を忘れないため、昭和48年に供養碑が建立された。



④山王神社
sanno-jinja
商売繁盛の稲荷さんに山の神を一緒にお祀りした賀田の氏神。稲荷大明神は享和2年(1802)、賀田村の甚兵衛さんが本宮から勧請したとされる。



⑤北の関所跡の庚申供養塚
koshin-kuyoduka
曽根の関所は曽根弾正が設けた。JR賀田駅裏手に北の関所があったといわれ、庚申堂がまつられている。国道から逸れて線路ガード下をくぐった場所。



⑥首なし地蔵
kubinashi-jizo
江戸時代の終わりに、すでに首がなかったと伝わる小さな地蔵さん。その姿から身代わりになってくれるとして、首から上の病に霊驗あらたか。



⑦道祖神
dososhin
旧街道の入り口にある男女神を彫刻した道祖神。道の境界に立っているため、行路の神、旅の神として平安から室町時代に掛けて流行った神様。



⑧曽根町郷土資料館
sonecho-museum
曽根遺跡からは石刀3振、石剣1振、垂玉1個などが見つかり、当時は豪族が住んでいたと予想される。石器や土器のほかに、明治から昭和のレトロな生活用品も多数収蔵。
☎0597-27-2326
曽根町606-5[見学要予約]



⑨浄の城(曽根城跡)城山公園
jonoshiro-shiroyama park
室町時代末期、南輪内地方に盗賊が出没。そこへ派遣されたのが近江国の佐々木宇右衛門正吉。ツツジ山に山城を築き、名を曽根彈正と改め、盗賊を取り締まって、この地を治めた。村人たちから名君と尊敬されたスゴイ人。城跡には内堀、外堀が残る。



⑩飛鳥神社
asuka-jinja

古くは「阿須賀大明神」として崇敬された飛鳥神社。1200年以上の歴史を参道の杉や大楠が物語る。社殿周りの丸石も見事。



⑪石幢(六地藏灯籠)
sekido
曽根公民館横の石幢は、悪疫が流行した昔、曽根彈正が建立。村人総出で数珠を巡らし、退散の祈願をしたそう。

曾根次郎坂・太郎坂

sonejiro - zaka, taro - zaka

「慈しむ道」

親しみの持てる次郎・太郎の名は自領・他領のなまりから

COURSE

レベル ★★
所要時間 2時間30分
距離 約5km



尾鷲セラピスト
平山 泉さん

尾鷲市から熊野市へと抜け、甫母峠を越えるコースです。ヒノキの森の中、猪垣のほか貴重な史跡も多く、石畳道が苔むす硬派な道で、聞こえるのは野鳥のさえずり。理屈でなく、肌で感じて歩きたいルートです。

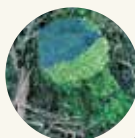
NATURE CHECK



やさしく
なでなで
苔ワールド



魚の骨?!
いやいや葉脈です



パンダ苔!?
なぜかまっぶたつ

フサフサの苔やフカフカ落ち葉、ニョキニョキ地を這う木の根っこ。感性豊かにしてくれる緑の森で、古道ウォークを楽しんで。



VIEW POINT



①英雄・曾根弾正の五輪塔

郷里の窮地を救った曾根弾正。近江の国から甲賀忍者を率いて赴き、海賊や盗賊に苦しめられたこの地域で住民を守ったと伝わるスーパーヒーローだ。



②南の関所跡で無事を願う

曾根南の関所跡にある「南無阿弥陀仏」の名号碑。享保3年(1718)、安定寺の和尚が通行の安全を願って建立。旅人や巡礼者が多く歩いたに違いない。



③曾根の石は江戸城へ

よく見ると、歯形のような石! これは切り出すための矢穴の跡で、割った形跡をいくつか発見できる。曾根の石は江戸城中の門の石垣としても使われた。



④旅の苦労を偲ぶ巡礼墓碑

さほどキツイ峠道ではないが、この道で旅人が命を落としている。登り口に近い墓碑は、文政13年(1830)にここで倒れた武州(埼玉県)からの巡礼者のもの。



⑤峠でにぎわったほうじ茶屋

中世にはここが志摩と紀伊の国境。今は尾鷲と熊野の市境。傍示(ほうじ)とは、傍(ふだ)を立てて国境を示したことから付いた茶屋。甘いおやつでひと休み。



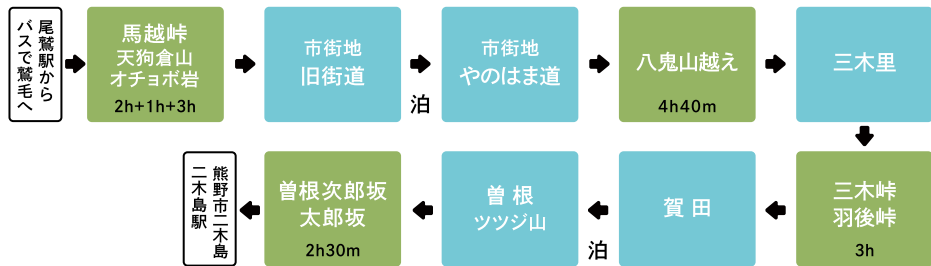
⑥ザクザク落ち葉の朴の木平

大きなホオの木。近くには柱状節理そびえる楯ヶ崎の見える展望所も。峠越えにプラスして、甫母から楯ヶ崎方を歩くこともできる。ただしかなりツツモノ向け。

熊野古道 曾根次郎坂・太郎坂

MODEL COURSE たとえばこんな歩き旅

2泊3日 オール尾鷲古道制覇 & 気分爽快絶景ポイント



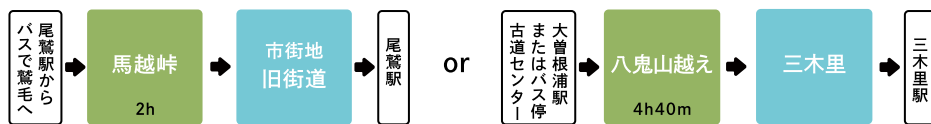
1泊2日 よくばり古道で王道に行く



1泊2日 寡黙に歩く 自分探しのプチ旅へ



日帰り 古道もまちも 2つの魅力にはまる



日帰り しっかりひたすら歩いて2峠



OWASE STAY

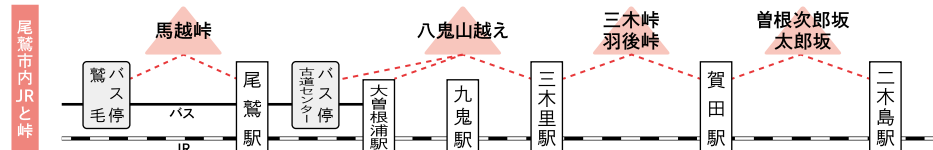
おかえりなさい 尾鷲で宿泊

尾鷲観光物産協会
オススメの宿

馬越・天満	コテージ 古道沿い アルベルゲ 山帰来 馬越町1509-49 ☎0597-22-3597 素泊り/4,000円~	市街地	ビジネスホテル ビジネスホテル末広 末広町2-17 ☎0597-22-8823 素泊り・1泊朝食/5,000円~
	コテージ 古道沿い コテージ ウッドベック 馬越町4538-7 ☎0597-25-2078 素泊り/5,500円~		ビジネスホテル 海沿い ホテル ピオラ 北浦町1-4 ☎0597-22-1110 素泊り・1泊朝食/6,680円~
市街地	民宿 海近し 船あり 民宿 風帆 天満浦11 ☎0597-22-2663 素泊り・1泊朝食・1泊2食/3,850円~	三木里	ビジネスホテル ビジネスホテル フェニックス 栄町5-25 ☎0597-22-8111 素泊り・1泊朝食/5,300円~
	民宿 海近し 民宿 山口 天満浦136 ☎0597-22-4569 素泊り・1泊朝食・1泊2食/6,480円~		ビジネスホテル シティホテル 望月 坂場町5-3 ☎0597-22-0040 素泊り・1泊朝食/5,500円~
市街地	ビジネスホテル おわせビジネスホテル 野地町1-2 ☎0597-22-0180 素泊り/5,000円~	賀田	民宿 海近し 船あり 民宿 柴山 林町2-2 ☎0597-22-5566 素泊り・1泊朝食・1泊2食/3,780円~
	ビジネスホテル ビジネスホテル胡蝶館 野地町13-2 ☎0597-22-0174 素泊り・1泊朝食/5,500円~		民宿 旅荘 竹美 小川東町3-7 ☎0597-22-3419 素泊り・1泊朝食・1泊2食/4,800円~
市街地		三木里	民宿 海近し 船あり 旅館 勝三屋 梶賀町17-4 ☎0597-27-2182 素泊り・1泊朝食・1泊2食/3,500円~
			民宿 海近し 船あり 旅館 勝三屋 梶賀町17-4 ☎0597-27-2182 素泊り・1泊朝食・1泊2食/3,500円~

ACCESS GUIDE 交通インフォメーション

電車で	東京駅	新幹線のぞみ / 1時間45分	名古屋駅	特急ワイドビュー南紀 / 2時間半	尾鷲駅
	名古屋駅	特急ワイドビュー南紀 / 2時間半			
	大阪上本町駅	近鉄特急 / 1時間半	松阪駅	特急ワイドビュー南紀 / 1時間20分	



遠足日和には尾鷲の古道へ、街道へ 尾鷲的ウォーキングスタイル



カッパ

山の天気は変わりやすく、さらに雨量の多い大台山系が近い熊野古道では必需品です。



菅笠

広く覆って日差しをシャットアウト。頭と笠の間に風が通り想像以上に涼しい。夏にはコレ!

リュック

カメラ

安心の!?
熊鈴

水筒



杖

ころぼぬ先の杖。古道にはナチュラルな杖がよく似合う。登り口にたいてい置かれている。



虫除け スプレー

温暖な尾鷲では、冬でも蚊がブーン。帽子や襟に付けると顔に纏わりつかずにすみます。



わらじ・簡易かんじき・藁一本

石畳は滑るので注意。特に雨上がりは油断大敵。藁一本と結束バンドがあれば充分。



基本の基本

- 植物を傷つけないように。動物に餌をやるように。ゴミを捨ててはいけません。
- 山では登り優先です。譲るときは山側に寄ります。スペースがなかったり相手が大人数の場合は臨機応変に。